

平成 27 年度「大分市中心部における歩行者通行量調査」について

平成 28 年 3 月
商工労政課

1. 調査目的

「大分市中心部における歩行者通行量調査」の実施により、「第2期大分市中心市街地活性化基本計画」(以下、第2期認定基本計画)における活性化目標として掲げている「歩行者通行量」と「まちなか滞在時間」の経年検証を行う。また、歩行者や通行の特性を把握し、今後の活性化施策検討のための基礎資料とする。

2. 調査方法

〈歩行者通行量調査〉 調査員による定点観測にて実施 (中心市街地 41 地点)
 〈中心市街地アンケート調査〉 中心市街地来街者に対し調査員による聞き取りにて実施
 (中心市街地 16 地点、調査総数:2,333 件)

3. 調査日時

平成 27 年 11 月 13 日(金) 11:00~19:00 天候[雨]
 11 月 14 日(土) 11:00~19:00 天候[曇り時々雨]
 11 月 15 日(日) 11:00~19:00 天候[晴れ]

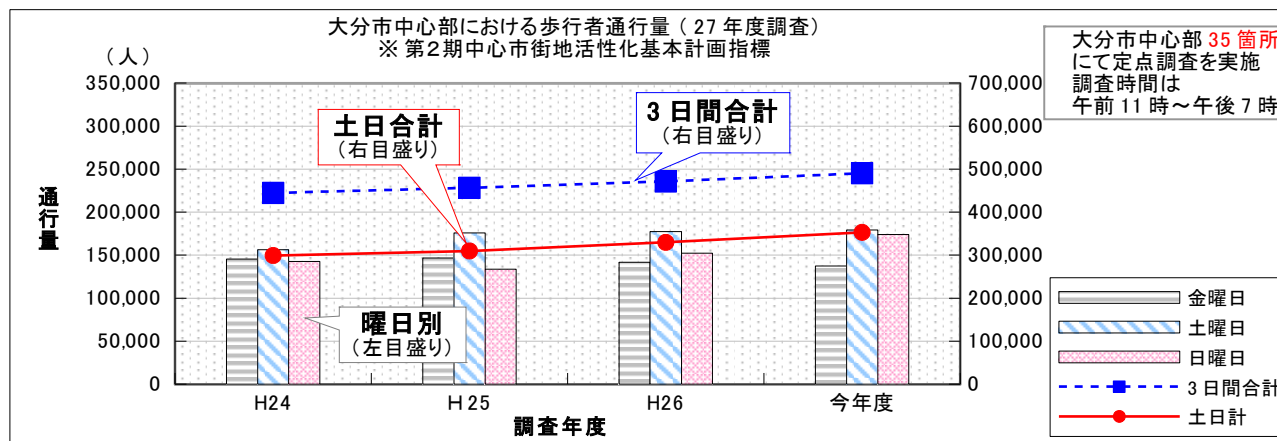
4. 調査結果

3 日間合計(35 地点合計) 490,432 人 (前年比 104.0%)
 評価指標(35 地点土日合計) **353,056 人** (前年比 107.1%)
 ※評価指標=認定基本計画の数値目標(35 地点の土日 2 日間通行量合計)
 ⇒ 数値目標:350,000 人(平成 29 年度)

〈通行量〉

大分市中心部における歩行者通行量(※35箇所合計)【第2期中心市街地活性化基本計画 指標】

	金曜日	土曜日	日曜日	3日間合計	前年比	土日計	前年比
H24	145,380	156,457	142,795	444,632	-	299,252	-
H25	146,703	175,950	133,810	456,463	102.7	309,760	103.5
H26	141,635	177,447	152,334	471,416	103.3	329,781	106.5
今年度	137,376	179,217	173,839	490,432	104.0	353,056	107.1

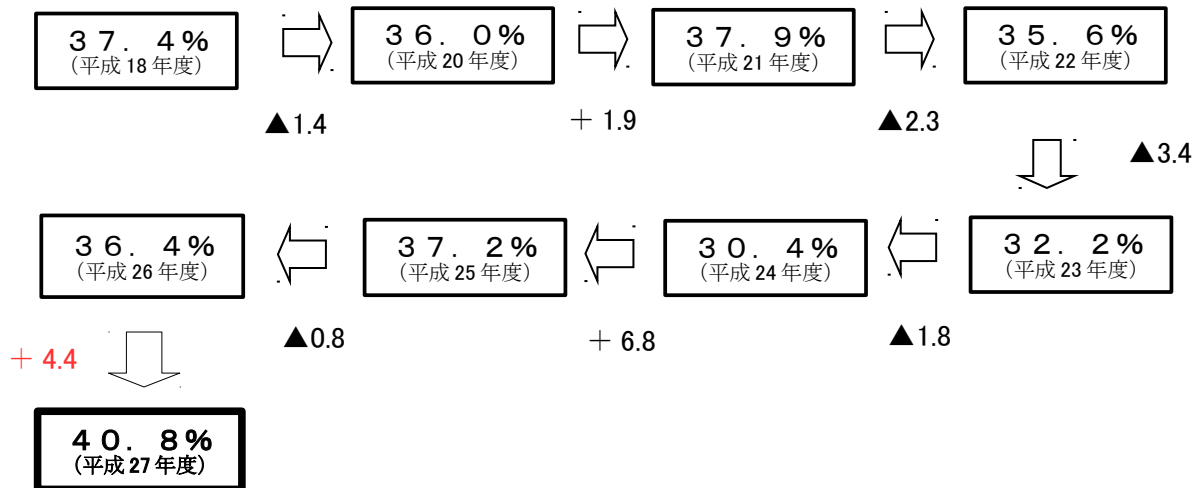


<滞在時間>

滞在時間が3時間以上の割合(アンケート調査より) 40.8%

※滞在時間=認定基本計画の数値目標(アンケート回答者のうち、中心部における滞在時間が3時間以上の人の割合)

□数値目標=40.0%(平成29年度)

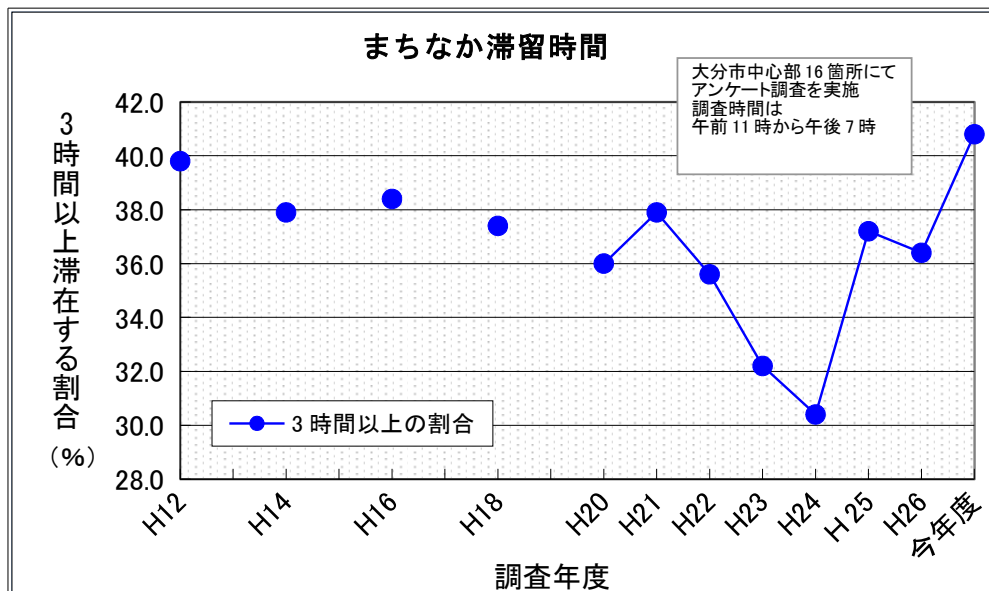


○「まちなか滞在時間」の経年変化(平成12年度以降)

まちなか滞留時間

(3時間以上滞在するひとの割合)

年度	3時間以上の割合
H12	39.8
H14	37.9
H16	38.4
H18	37.4
H20	36.0
H21	37.9
H22	35.6
H23	32.2
H24	30.4
H25	37.2
H26	36.4
今年度	40.8



〔調査結果の概況〕

①歩行者通行量調査

本調査は、第2期大分市中心市街地活性化基本計画に掲げている35地点に加え、市道中央通り線の横断6箇所を加えた合計41地点において歩行者通行量調査を実施した。

中心市街地活性化基本計画指標の35地点の土日2日間の合計は、前年度調査と比べ23,275人(7.1%)増となる、353,056人となり、目標値の35万人を初めて達成した。曜日別では、土曜日は前年比で1,770人(1.0%)の増加で、日曜日は前年比で21,505人(14.1%)の増加となっている。

また、41地点の曜日別調査では、金曜日は前年度調査より9,268人(5.7%)減の152,190人、土曜日は4,073人(2.0%)減の198,824人、日曜日は17,132人(9.8%)増の192,172人で、三日間合計は3,791人(0.7%)増の543,186人となっている。増加地点数は、金曜日は12地点、土曜日は11地点、日曜日は17地点となっており、三日間合計で増加している地点は15地点で、全体の36.6%に達しており、セントポルタ中央町(南北方向)エリア(前年比109.3%)、外堀通りエリア(前年比124.8%)、府内中央口広場エリア(前年比167.6%)、上野の森口広場エリア(前年比118.4%)などとなっている。

一方、府内五番街やふないサンサン通り、中央通りなどの各エリアの26地点で前年度よりも減少した結果となっている。

今年度の調査により、三年連続して35地点及び41地点の三日間合計の増加が見られたことは、大分駅周辺総合整備事業の推進や、大規模集客施設のオープンなど、中心市街地活性化に向けた施策が着実に進捗している結果と考えられる。

②アンケート調査

中心市街地活性化基本計画の目標指標のひとつである「まちなか滞在時間(3時間以上の人の割合が40%)」について、中心部16地点で聞き取りによる調査を行っている。

3時間以上のまちなか滞在時間の割合は経年的に減少を続けていたが、25年度調査では24年度対比で6.8ポイント増加し37.2%となった。26年度は25年度対比でわずかに減少したものの、今年度調査では26年度対比で4.4ポイント増加し40.8%となり、目標値を達成している。

調査地点別に滞在時間を見ると、8地点で3時間以上滞在した人が40%を超えており、なかでもブンゴヤ薬局、府内五番街、ふないアクアパークでは50%を超えている。

年代別では、10代、20代、30代、50代で「3時間以上」の割合が40%を超えている。

【参考資料】

歩行者通行量の経年変化(平成12年～25年)(中心市街地33地点)

大分市中心部における歩行者通行量(※33箇所合計)【第1期中心市街地活性化基本計画指標】

	金曜日	土曜日	日曜日	3日間合計	前年比	土日計	前年比
H12	185,454	239,797	234,437	659,688	-	474,234	-
H14	168,499	187,398	187,621	543,518	82.4	375,019	79.1
H16	153,610	176,604	172,498	502,712	92.5	349,102	93.1
H18	156,181	162,760	164,073	483,014	96.1	326,833	93.6
H20	149,266	161,752	156,535	467,553	96.8	318,287	97.4
H21	163,371	172,524	144,116	480,011	102.7	316,640	99.5
H22	138,668	163,130	155,052	456,850	95.2	318,182	100.5
H23	122,218	153,958	137,577	413,753	90.6	291,535	91.6
H24	133,069	143,992	131,162	408,223	98.7	275,154	94.4
H25	133,242	158,878	117,631	409,751	99.0	276,509	94.8

